

一般質問と答弁要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。

自助・共助・公助の連携と子育て支援・教育の向上を

自由民主党目黒区議員

栗山 よしじ 議員

自助・共助・公助災害対策基本条例等、自助・共助・公助の密接な連携という考え方が示されている。この考え方を街づくり、子育て、介護等さまざまな施策へ検討させよ。

自助・共助・公助の考えを取り入れた連携を行うことは、地域住民間の関係も円滑になるなどの効果も期待できる。災害対策に限らず、他の施策への活用を検討していく。

<学童保育クラブ>の子育てでのあり方を、学童保育クラブの保護者と組織を作り、連携させよ。

保護者の主体的なつながりや交流は支援していく。行政が保護者と組織づくりに関わることは、主体的等との関係もあり今後の研究課題とする。

<新学習指導要領>平成23年度に新学習指導要領の実施であること。実施の前後で教科書の内容に差があるため、学年間で教育レベルの格差が起こる可能性がある。どう対応するか。

教育長平成21年度から、新学習指導要領の実施に向けて、指導内容などを調整する措置展開が開始される。期間中児童生徒への指導が十分行えるよう、教員への研修等や計画的に行っていく。

<家庭教育>健康教育推進の方向性において、家庭における食生活の実態調

地域経済の発展、生活困窮者対策、雇用対策に全力を!

日本共産党目黒区議員

岩崎 ひみひろ 議員

<経済発展と福祉を結びまちづくり>

(1)高齢者への自立支援のための住宅改修で減額補助を拡充せよ。(2)介護保険を使った住宅改修でも1割負担分について減額補助を実施せよ。(3)空き店舗を活用し、高齢者や障害者の介護施設や利用し、またさまざまなサービスを提供し、関係機関と連携することで新たなような福祉支援の取組を。(4)専任、個人事業主で利用できるような、区が直接貸し出し無利子融資制度をつくらせよ。

<区議員の再雇用>経済状況の悪化等で、わが国は自殺者が年間3万人を超える状況が続いている。一方、区長はオリンピック開催に向けて3.4万円の税金を使った旅行費で北京へ行った。そこで公平・公正な収入について質問する。(1)退職職員の再就職に関して、職員全体が受ける公平性は確保されているか。(2)議員の再雇用について、区民で理解が得られているか。(3)再任用制度と職員の区との違いは何か。(4)65歳定年制を導入できない理由を尋ねる。(5)平成20年度に始まったフルタイム再任用制度のどのような効果があり、課題は何か。(6)目黒区において美学期ごと、さらに再雇用後の福祉会社社に転職している管理職や、協議会から特別養育老人ホームに転職する例も出てきている。区民はこのような事例を理解するかどうか。(7)議員の心身の病を保持者が増えているが、区長の認識は。

区長(1)再任用制度等の導入に当たり、運用方針を定めて職員団体和協し合意を得ると、公平性の理解は得ていると考えている。(2)効率的な区域運営を確保する観点から取り組んでいるが、区民の理解を得られぬような適切な運用が認められる。(3)一一般職員の再任用は短時間勤務を原則とするが、管理職員は短時間勤務とは異なる

未来に向けた街づくり 入れぬリサイクルで福祉還元

民主党・区民会議

鴨志田 リ工 議員

<大きく変わる中目黒の街づくり>

(1)21年前の中目黒駅周辺の整備構想を改定せよ。(2)駅周辺の景観基準を4フロア以上作成し、商店街などに特色を出せ。(3)山手通りの拡張で新たに整備する街路、歩道等へ地域の声を反映せよ。(4)中央環状線沿線の中目黒換気所の外観デザインと新設の橋に、地域の意見を東京都へ届けよ。(5)経済悪化を踏まえ、JR跡地の事業性と採算性を再検討せよ。

区長活動を支援するため、回収ボックスを設置する施設について検討していく。

<空き教室の活用>(1)中学の複数校の総合学習で実施したトレーニングゲームの現状と今後を問う。(2)企業資金協力により中学の空き教室・街を再現したファイナンスパークで、生徒は生活コストと社会の働きを体験し、お金と意思決定の重要性を学ぶ。事後学習で得た道を考える教育プログラムを導入せよ。

教育長(1)実施と講師の育成等拡大されていないのが実情。金融や経済についての学習の充実の観点から検討していく。(2)疑似体験や市場動向を踏まえた教育が効果的かどうか、今後学校現場とともに議論していく。

<入れぬリサイクル>ゴミとして処分されがちな入れぬに含まれる廃少量金属をリサイクルで資源化し、その販売益を福祉

豊かになっているのは 区長と役所の管理職!

無所属・目黒独歩の会

梅原 たつろう 議員

果たせぬなどのため、フルタイム勤務とした。(4)定年延長等を目的とする地方自治法の改正等踏まえ、検討していく。(5)定年退職等が退職金の不足する中、閉滞的な運営に効果を生じた。一一般職員も、知識や技術が必要な状況でフルタイム再任用が課題となると考える。(6)業務経験等を評価した当該団体の判断による採用であり、多額の退職金などないことを、理解は得られると考える。(7)メンタルヘルス対策は社会問題であり、予防や早期発見等充実に努める。

<区政調査費住民訴訟>区議会が、公判途中に区政調査費の一部を返還したが、返還理由の正当性を認識しているか。

区長返還は、状況を勘案したご本人の自主的な対応と認識している。

<西山駅前再開発>住民より問題を指摘されているかどうか。

区長昨年実施の「商店街のついで」、民間業者が買収した駅前土地について質問があった区に対しては、要望生動化に基づいて、目黒市と協議している。

区長昨年実施の「商店街のついで」、民間業者が買収した駅前土地について質問があった区に対しては、要望生動化に基づいて、目黒市と協議している。

便利で・楽しく・住みやすい 目黒を目指して

公明党目黒区議員

関 けんいち 議員

<窓口時間帯拡充>(1)休日に開設を要望されている部署はないか。(2)休日窓口で本庁の休憩コーナーに窓口を設けてはどうか。

区長(1)(2)住民異動の届出につき、平成20年度から休日一部受付を開始した。休憩コーナーの設置計画を慎重に検討していく。

<忘れ物取出しサービス>渋谷区で非営利団体による忘れ物オンラインサービス好評と聞かされた。鉄道会社が目黒に導入する例もあり、本区も実施してどうか。

区長先進事例などを参考に今後検討する。

<子ども見守りメール>(1)実施しつた配布や区施設での相談を通じて、一層の取組に努める。

<階段避難経路>介護施設に設置しては、のご意見もあるが、今後の活用計画を問う。

教育長(1)小学校では利用者が7割を超え、中学校と緊急連絡網としても活用されたい、今後とも継続する。(2)「ならまし登録」を防止するため、制限は厳格にする。(3)新入学時など、利用者の拡大を図るようPRに努めながら運用していく。

<放置自転車対策>世論調査で悪い施策の第一位だが、(1)過去実施のモビリティ・

防災、教育を整備して、真に住みよいまちづくりを

自由民主党目黒区議員

今井 れい子 議員

<安全・安心なまちづくり>(1)火災被害を最小限に抑えるため、一般住宅に住宅用火災警報器の設置を早期に推進せよ。(2)災害発生時に必要なメンタルケアの対応策を問う。(3)振り込め詐欺の被害者を最小限に抑えるため、中堅クラブ活動の活性化を図る。

区長(1)消防署と協力して普及啓発に努めるとともに、町会を中心とした共同関係の強化と連携、メンタルヘルス専門ボランティアの拡充など体制整備に努める。(3)警察、防犯協会などと連携し、被害防止対策を継続強化していく。

<めぐろ区学校教育プラン改定>(1)特色ある目黒区の教育を積極的に進めため、めぐろ区学校教育プランをどのように改定していくか。(2)小中連携について、現プランの重点目標として小学校高学年の教科担任制や中学校教員の出前授業などが実施されているが、一部の学校に留まっている。小中連携を一層進めるため、中堅クラブの活性化、教員の業務負担など具体的な条件を整えよ。

教育長(1)現在、区の教育課程編成資料の改定を進めて、新学習指導要領の理念をめぐろ区学校教育プランに盛り込むよう改定作業を進めている。(2)英語教育、情報教育など小中の連携した指導計画を作成し、カリキュラムの連携などを推進していく。教員の業務負担は研究課題とする。

平成20年度区議会情報公開の状況

(平成21年3月31日現在)

平成20年度の情報公開の開示請求件数は、3月31日現在11件です。内容は次のとおりです。

○ 区政調査費	6件
○ 委員会会議録	2件
○ 委員会見解	2件
○ 個人情報	1件

このうち全部開示3件、部分開示6件、不開示1件、不存在1件でした。

子どもの人権を守り、区民の健康、環境に配慮せよ

自由民主党目黒区議員

戸沢 二郎 議員

<子どもの人権>(1)現状の認識と「めぐろ子どもスマイルプラン」の関係を確認。(2)子どもフォーラムの成果と、浸透の認識を聞く。(3)権利擁護委員制度でどう受け止めるか。

区長(1)今後の学時の検討の推進を見守る。(2)制度導入時のPR不足が影響した。指導対象者は2321人(受診者中12.6%)、保健師実地実施率は集団検診中である。(3)区内10の小規模学区を想定している。(4)施設整備費補助等の支援策により、事業者の参入を促していく。

教育長(2)いじめをしない、きせきんことが児童生徒に確実に深まっている。

<腐苔フッシュ資源回収>(1)プラスチック製品の回収の安全性の確認はどのように求めるか。(2)資源化事業の実施区へ負担金を求む。

区長(1)非ガス分析計、第三者機関の測定ともに法規制値以下で問題はない。(2)各区の事情から難しい。

学童保育クラブ増設を Hib ワクチン予防接種に助成を

民主党・区民会議

富士見 一郎 議員

<学童保育クラブ>働きながら子育てをするというライフスタイルの定着や、不況下において新たに職を得る母親の増加等により、今後、学童保育クラブへの入所希望者が大きく増加することが予想される。現在の利用者と未利用者の差を、継続できるか、入所できるかと不安を抱えている。今後の増設計画を基本計画にも盛り込み、利用者の不安を解消できようと思われたい。

区長Hibワクチンは、平成20年12月に発売されたばかりで、厚生労働省が9年計画の臨床試験による安全性の確認を実施中である。その現状状況を踏まえ、公費助成の導入について検討していく。

(※2)の定期接種が常設化している。目黒区でも接種を受けた人への助成を行うべきと思うか。

生活支援、経済対策の視点から 区民福祉の向上を目指せ

自由民主党目黒区議員

いその 小三 議員

<暮らしのサポート>(1)緊急経済対策の場から給養の点検検査を行い、平成21年度早期に再度予算の編成を行う必要はないか。(2)自治体の財政が厳しくなる中、将来的責任ある教育の展開について問う。

区長(1)当初予算の緊急経済対策の効果などは見極めながら、追加的対策の時期方法を判断する。(2)行政財政を徹底的に、基金の活用等慎重に判断して区政運営の軌道を行っていく。

<保育>(1)求職中の保育士が高齢から入所選考基準指図を見直す必要はないか。(2)厚生労働省の保育関係者に係る事務制度改正方針について、どう考えるか。(3)児童福祉施設の入所、保育で差別を無くすか。

区長地域と連携協力しながら、創いのまちの普及啓発の充実に努める。

<仮倒の人工芝>財政状況等を考慮する上、人工芝は必ずしも社会保険料の減はないか。

教育長天然芝と人工芝と舗装と長所短所を比較して人工芝が適切と考え、今後も推進していく。